

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月  
 基準日  
 定時株主総会 12月31日  
 期末配当金  
 中間配当金 6月30日  
 (中間配当を実施する場合)  
 その他 必要ある場合は、取締役会の決議により、  
 あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株  
 公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
 公告掲載URL  
[https://www.tok.co.jp/company/public\\_notice.html](https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html)

上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部  
 証券コード 4186

## ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式（100株未満の株式）の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますと配当金をお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

## 株式に関するお手続きについて

### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>住所・氏名等の変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定（注）</li> </ul>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>ご請求 電話 0120-232-711 (通話料無料)</li> <li>インターネットによるダウンロード <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> </ul>

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

IRメール配信を行っています。是非ご登録ください。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4186>



## 社外からの評価

当社グループの最先端エレクトロニクス機能材料や高純度化学薬品を製造する郡山工場は、お客さまの要請に応じ、RBA（責任ある企業同盟）による監査を受審し、その要求事項を全て満たしているという、最高評価であるプラチナ認定を取得しました。



RBAは、電子・電機業界の有力企業などが運営するグローバルなサプライチェーンにおけるCSR（企業の社会的責任）推進組織です。この監査では、サプライチェーンにおける労働・安全衛生・環境保全・倫理やマネジメントシステムの整備状況、各基準の順守状況が評価されます。

今後も、当社グループはCSR方針に則り、持続可能な社会の実現にむけて取り組んでまいります。



CSR情報

## tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地  
 電話 044-435-3000 (代表)



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



# 第92期 中間報告書

2021年1月1日～  
2021年6月30日



証券コード4186

豊かな未来、社会の期待に化学で応える  
 “The e-Material Global Company”  
**tok 東京応化工業株式会社**



代表取締役 取締役社長

種市 順昭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第92期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年6月30日まで)の業績および当社グループにおける今後の取組みにつきましてご報告申し上げます。

### 第92期第2四半期における市場環境および当社の業績について

当上期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制されたため、一部の経済活動において持ち直しの動きがあるものの、厳しい状況が続きました。このような情勢下において、当社グループは、「豊かな未来、社会の期待に化学で応える“The e-Material Global Company”」という経営ビジョンのもと、当期を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」の諸施策を推進し、全社戦略の遂行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

当上期のエレクトロニクス産業においては、5GやIoT等の普及に加え、パソコン、データサーバーやスマートフォン向けの半導体需要が好調に推移しました。このような市場環境を受け、主にアジア地域を中心に高付加価値製品である半導体材料および高純度化学薬品が好調に推移したことにより、材料事業において、売上は前年同期を大幅に上回りました。また、装置事業におきましては、受注済み装置の検収が遅れたことから、売上は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は648億8百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

材料事業の利益面は、高純度化学薬品の原材料となる有機溶剤価格の高騰による経費増加があるものの、半導体用フォトレジストおよび半導体製造の後工程に用いられる高密度実装材料などの高付加価値品や高純度化学薬品の販売が好調に推移したことにより、増益効果が46億円ありました。このため、当上期の材料事業の営業利益は前年同期に比べ31億22百万円の増益となる123億13百万円(同34.0%増)になりました。

一方、装置事業は、前年同期に比べ68百万円上回り、2億25百万円の営業損失となりました。

このため、当上期の営業利益は、95億74百万円(同43.7%増)となりました。

また、経常利益は100億52百万円(同48.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億99百万円(同37.9%増)となりました。

から2円増配し、1株当たり62円とさせていただきます。

### 通期の見通し

下期は新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明さはあるものの、通期の連結業績に関しましては、今後も半導体市場は堅調に推移すると見込んでおり、売上高が期初の想定を大きく上回る見通しであるため、業績予想の修正を行いました。その結果、売上高は前年比164億円増加の1,340億円を予想しております。また、営業利益については、高付加価値製品の売上増加により、前年比36億円増加の192億円となり、2期連続で売上高・営業利益ともに過去最高を更新する予想です。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

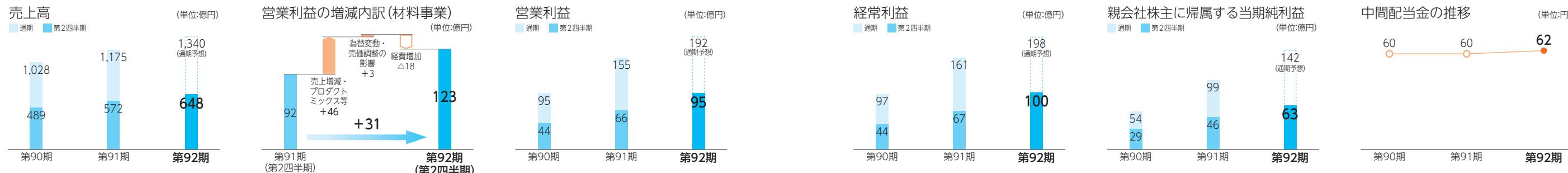
### 配当金

当期の中間配当金につきましては、前期中間配当金60円

▶ 東京応化工業のウェブサイトでは2021年12月期第2四半期決算説明会の模様をご覧ください。  
[東京応化工業ウェブサイト](https://www.tok.co.jp/ir/movie) ▶ IR情報 ▶ 決算説明会ビデオ <https://www.tok.co.jp/ir/movie>



### 財務ハイライト



## 1 不純物の混入を許さないtokの技術

東京応化が提供するフォトレジスト、現像液、洗浄液、シンナーなどの半導体製造用化学薬品は、徹底した品質管理のもとで製造されています。

半導体にとって、不純物(微小なゴミや金属不純物)の混入は不良品の原因となるため、半導体製造には極限まで清浄度の高い製造環境が必要です。このため、半導体製造環境に不純物を持ち込まないために、半導体製造用化学薬品にも不純物管理が必要不可欠になります。

このため当社が管理している製品規格は、例えるなら、

“50mのオリンピックサイズ・プールにコーヒー1滴ほど”の不純物も許されないレベルです。この難しい規格を満たすため、原材料の管理から製造設備、製造工程や製品検査に至るまで、不純物分析や品質管理を徹底的に行うことで不純物を排除し、極めて厳しい検査に合格した製品を提供しています。

当社はお客様の品質要求に最先端の高純度化技術で応え、つねに最適な化学薬品を提供することで半導体製造を支えています。



金属不純物を検出する分析機器



自動化された充填ライン



クリーンルームの製造タンク

## 2 幅広い製品群で社会に貢献し続けるtokの技術

高速・大容量通信が可能な5G<sup>\*1</sup>の普及によりIoT<sup>\*2</sup>や新たな用途・サービスの増加によって、最先端半導体だけでなく、アナログ半導体<sup>\*3</sup>、パワー半導体<sup>\*4</sup>、センサー<sup>\*5</sup>、マイコン<sup>\*6</sup>などの需要も伸びることが予想されています。これらの半導体は、身近な家電やデジタル機器には欠かせない半導体であり、今後はさらに電気自動車の普及や脱炭素化に関するインフラへの投資などの用途の拡がりに伴い、その新規需要が増加すると考えられています。

当社は、半導体の進化の歴史とともに歩んできたことから、各種フォトレジストを取り揃えているだけでなく、

その付属薬品である現像液、洗浄液、シンナーといった高純度化学薬品まで幅広い製品を提供できることが強みです。これからも、当社の強みを活かし、お客様の要望に最適な製品の提供を続けることで、高まる半導体の新規需要に応え、豊かな未来と社会の実現に貢献していきます。

※1 第5世代移動通信システム

※2 モノのインターネット

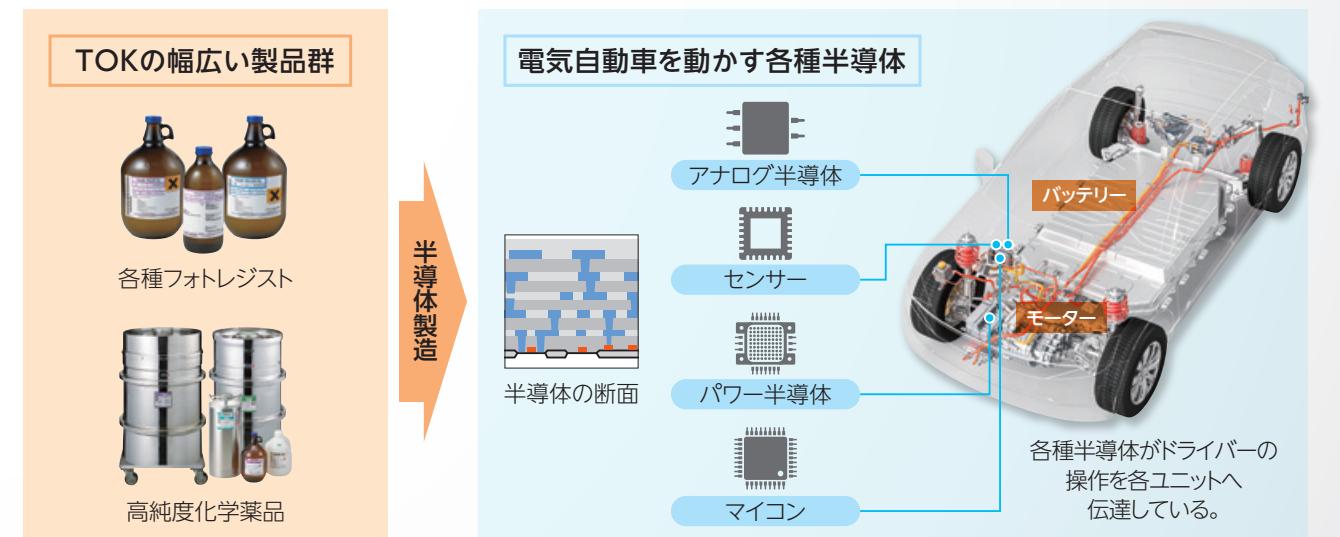
※3 人と機械の橋渡しとなり、アナログ情報をデジタル信号に変換、増幅などを行う半導体

※4 電気を直流・交流に切り替えるなど電力の変換や制御を担う半導体

※5 音、光、温度や速度などのアナログ情報を機械が取り扱うことのできる信号に置き換える素子

※6 マイクロコントローラとも呼ばれる、家電やデジタル機器の制御に特化したコンピュータ

### TOKの半導体製造用化学薬品と電気自動車を動かす各種半導体

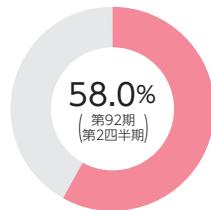


材料事業

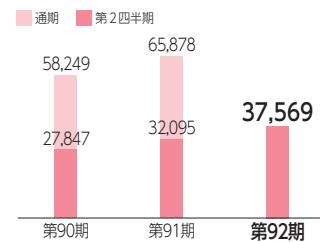
エレクトロニクス  
機能材料部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



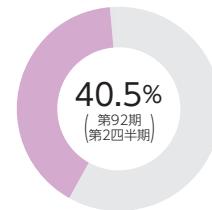
部門別売上高 **37,569**百万円

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年同期を大幅に上回る375億69百万円(前年同期比17.1%増)となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジストの売上が減少したものの、パソコンやスマートフォン向けなどの半導体需要が好調に推移したことにより、アジア地域において半導体用フォトレジストおよび半導体製造の後工程に主に用いられる高密度実装材料の売上が増加したことが主な要因です。

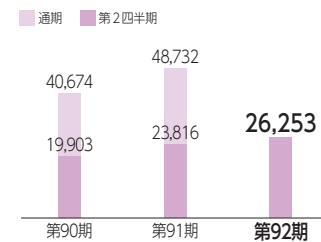
高純度化学薬品  
部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



部門別売上高 **26,253**百万円

高純度化学薬品部門の売上高は、前年同期を大幅に上回る262億53百万円(同10.2%増)となりました。これは、アジア地域において半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移したことが主な要因です。

装置事業

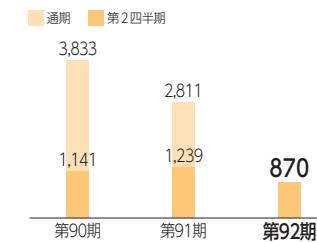
プロセス機器  
部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



部門別売上高 **870**百万円

プロセス機器部門の売上高は、前年同期を下回る8億70百万円(同29.8%減)となりました。これはウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」や半導体製造装置の検収が前年同期を下回ったことが主な要因です。

製品紹介

ライフサイエンス分野への貢献

当社グループは、細胞配列チップSIEVEWELL™\*1を2019年にライフサイエンス市場に上市しました。当社グループのブランドであるSIEVEWELL™は、大量の細胞を高精度に配列できるオンリーワンの製品です。

当社グループがこれまで培ってきた微細加工技術を活かし、多数のマイクロサイズの穴を備えるフィルターを搭載しており、病理診断などの現場における希少な細胞の回収、分離、検出やウイルス解析の容易化、効率化などの用途を通じ、国内外市場で独自の性能が高く評価されています。

今後もライフサイエンス分野でのプロモーションや新製品の開発を通じて、感染症や癌などの幅広い領域で、患者様のQOL※2向上に貢献を続けていきます。

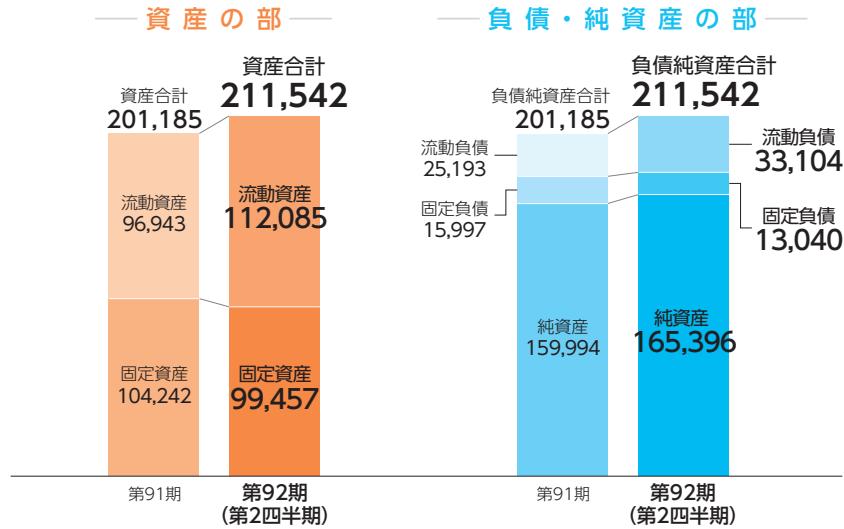
※1 製品名は、ふるい(Sieve)機能の穴(Well)を持つ、ことに由来しています。  
※2 Quality Of Life、生活の質。生きる上での満足度をあらわす指標のひとつ。



細胞配列チップ SIEVEWELL™を利用したテスト

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



資産の部

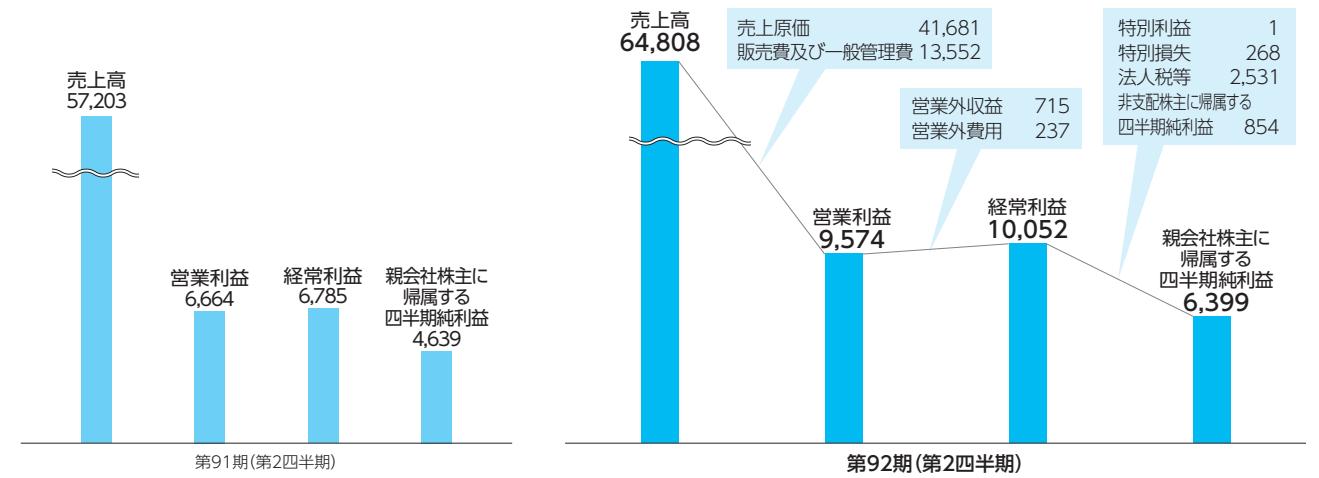
・現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産がそれぞれ増加したことにより、流動資産が増加。  
 ・設備投資により有形固定資産が増加した一方、投資その他の資産における長期預金の短期振替に伴う減少により、固定資産が減少。

負債・純資産の部

・支払手形及び買掛金、未払金や設備関係未払金など流動負債のその他が増加したことにより、負債合計が増加。  
 ・親会社株主に帰属する四半期純利益を確保したことにより、純資産が増加。

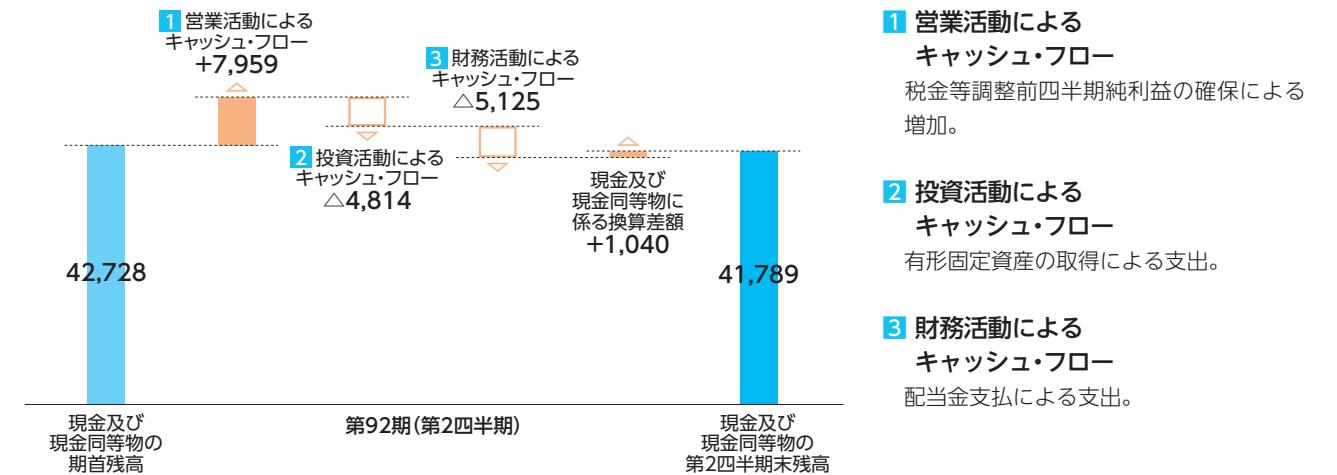
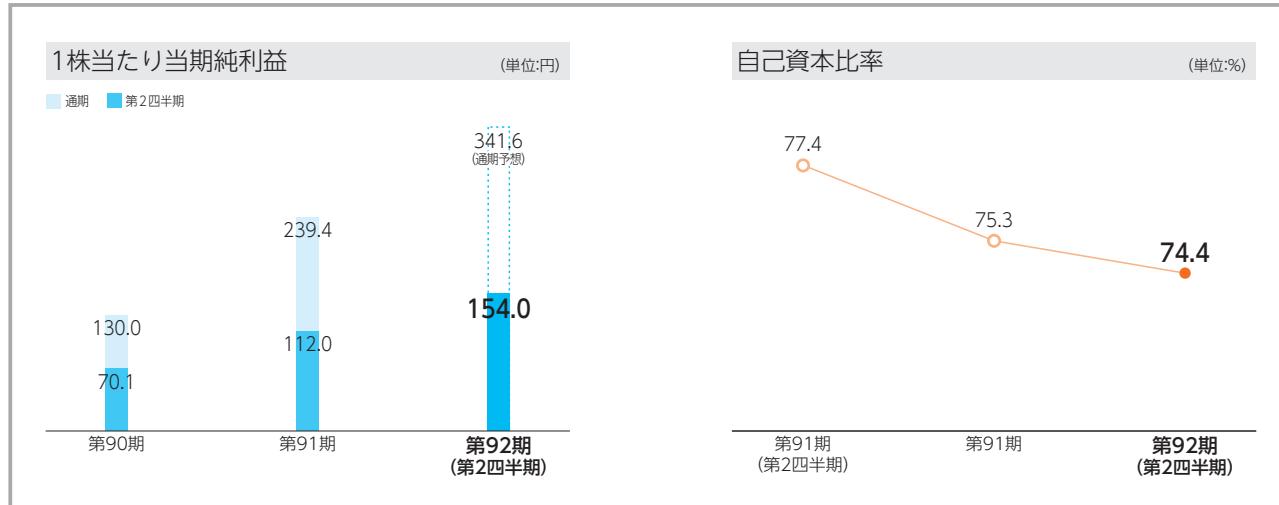
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの概要

(単位:百万円)



## TOKの企業価値

### インテル コーポレーションから「プリファード・クオリティー・サプライヤー (PQS) 賞」を受賞

当社グループは、世界的な半導体メーカーであるインテル コーポレーション(米国カリフォルニア州)から栄誉あるPQS賞を受賞しました(2年連続、7度目)。これは、当社グループが提供するフォトレジストおよび高純度化学薬品(現像液や洗浄液など)の卓越した技術、品質、供給体制および環境面、社会性、ガバナンスでの取り組みが高く評価されたものです。

これを励みとし、今後もさらに技術や品質の向上に取り組み、豊かな未来、社会の期待に化学の力で応えてまいります。



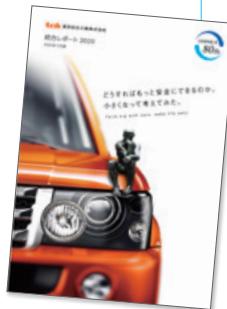
## TOKのIR活動

### 「統合レポート2020」を発行

当社グループの事業活動をステークホルダーの皆様により深くご理解いただくための冊子「統合レポート2020」を8月に発行しました。本冊子では、感染症リスクや気候変動リスク、地政学リスクなどの様々なグローバルリスクが顕在化するなか、当社グループのパーパス(存在意義)である「社会の期待に化学で応える」をいかに実践していくのかについて紹介しています。

本冊子は当社ウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.tok.co.jp/ir/library/annual>



### 個人投資家説明会を開催

当社グループは、事業戦略・業績などの会社情報を株主や投資家の皆様にご理解いただくために、適時、適正、かつ公平な情報開示を徹底し、積極的なIR活動に取り組んでいます。当上期は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、個人投資家の皆様との対話の場所として「個人投資家説明会」を東京、大阪、福岡の3都市で開催し132名の皆様にご参加いただきました。下期につきましては、今後の感染状況等を勘案しながら、慎重に開催を検討してまいります。

### IRカレンダー

2021年				2022年		
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第3四半期決算発表	通期決算発表	第92回定時株主総会		

今後もステークホルダーの皆様から信頼や共感を得られる企業グループを目指し、積極的な情報開示に努めてまいります。

## 株式の概況／会社概要 (2021年6月30日現在)

### 株式の状況

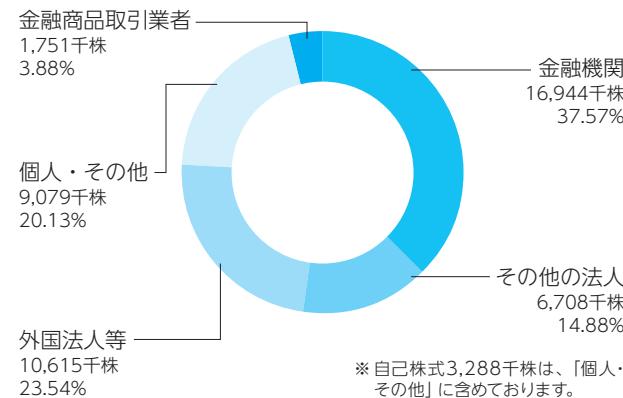
発行可能株式総数	197,000,000株
発行済株式の総数	45,100,000株 (自己株式3,288,045株を含む)
株主数	11,875名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,140	7.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,092	7.40
明治安田生命保険相互会社	1,826	4.37
MLPFS CUSTODY ACCOUNT	1,459	3.49
株式会社三菱UFJ銀行	1,207	2.89
株式会社横浜銀行	1,026	2.46
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	984	2.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	953	2.28
三菱UFJキャピタル株式会社	860	2.06
東京海上日動火災保険株式会社	857	2.05

(注) 1 当社は、自己株式を3,288千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(41,811,955株)を基準に算出しております。

### 所有者別株式分布状況



### 会社概要

社名	東京応化工業株式会社 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.
設立	1940年10月25日
資本金	14,640,448,000円
従業員数	1,818名(連結) (当社グループから当社グループ外への出向者および嘱託者を除く)
本社所在地	〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地 電話044(435)3000(代表)

### 役員

取締役および監査役	種市順昭
代表取締役取締役社長	佐藤晴俊
取締役	柴村洋一
取締役	水木國雄
取締役	村上裕一
取締役	鳴海裕介
取締役	関口典子
取締役	一柳和夫
常勤監査役	徳竹信生
監査役	竹内伸春
監査役	上原忠輝
監査役	梅崎

(注) 1 取締役栗本弘嗣氏、取締役関口典子氏、取締役一柳和夫氏は、社外取締役です。  
2 監査役竹内伸氏、監査役上原忠輝氏、監査役梅崎忠輝氏は、社外監査役です。

### 執行役員

※執行役員社長	種市順昭
※専務執行役員 開発本部長	佐藤晴俊
※専務執行役員 経理財務本部長	柴村洋一
※専務執行役員 台湾東應化股份有限公司 董事長兼總經理	入野浩一
※常務執行役員 総務本部長	水木國雄
※常務執行役員 営業本部長	土井宏介
※執行役員 材料事業本部長	村上裕一
※執行役員 TOK尖端材料株式会社 代表理事社長	鳴海裕介
※執行役員 新事業開発本部長	本川司
※執行役員 プロセス機器事業本部長	渡邊直樹
※執行役員 営業本部 副本部長	金山泰貴
※執行役員 上海帝興電子科技有限公司 董事長	山本浩貴
※執行役員 TOK尖端材料株式会社 代表理事副社長	大森克実
※執行役員 経営企画本部長	
※執行役員 開発本部 副本部長	

(注) ※印を付した執行役員は、取締役を兼任しています。